

製品名: IGHM マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM81881**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC,ELISA,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	49.3kDa

抗原情報

遺伝子名	IGHM
別名	MU; VH; AGM1
遺伝子 ID	3507.0
SwissProt ID	P01871
免疫原	大腸菌で発現したヒト IGHM (AA: 310-452) の精製組み換え断片。

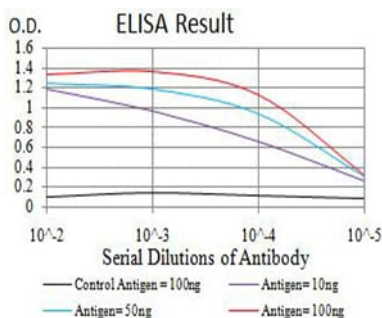
背景

免疫グロブリン (Ig) は、B 細胞の抗原認識分子です。Ig 分子は、2つの同一の重鎖と2つの同一の軽鎖 (MIM 147200 を参照) で構成され、これらの重鎖はジスルフィド結合で結合しており、各重鎖は軽鎖と結合し、2つの重鎖は互いに結合しています。各 Ig 重鎖

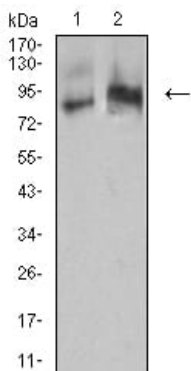
には、抗原結合部位を含む N 末端可変 (V) 領域と、抗体のアイソタイプを決定し、エフェクター機能またはシグナル伝達機能を提供する個別の C 領域遺伝子によってコードされる C 末端定常 (C) 領域があります。重鎖 V 領域は、V 遺伝子 (MIM 147070 を参照)、結合 (J) 遺伝子 (MIM 147010 を参照)、および多様性 (D) 遺伝子 (MIM 146910 を参照) の 3 種類の遺伝子がそれぞれ 1 つずつコードされています。C 領域遺伝子は、14 番染色体の重鎖遺伝子座内で、V 領域遺伝子の下流に密集しています。IGHM 遺伝子は、IgM アイソタイプを定義する μ 重鎖の C 領域をコードします。ナイーブ B 細胞は、その表面に IgM および IgD の膜貫通型 (IGHD、MIM 1471770 を参照) を発現します。抗体応答の間、活性化 B 細胞は、アイソタイプスイッチと呼ばれる体細胞組み換えのプロセスによって、個々の下流重鎖 C 領域遺伝子の発現に切り替えることができます。さらに、抗体として機能する分泌型 Ig は、重鎖 C 領域配列に対する選択的 RNA プロセッシングによって生成されます。膜型 Ig アイソタイプのすべては単量体ですが、分泌型 IgM は血漿中で五量体、場合によっては六量体を形成します (Janeway らによる要約、2005)。

研究分野

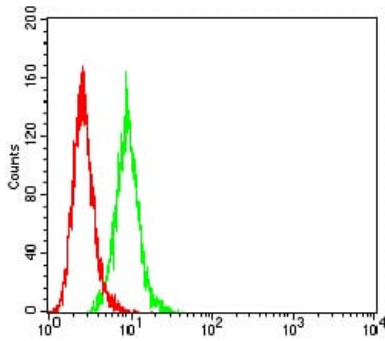
画像データ



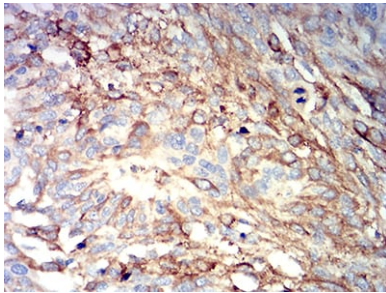
黒線: コントロール抗原 (100 ng) ; 紫線: 抗原 (10 ng) ; 青線: 抗原 (50 ng) ; 赤線: 抗原 (100 ng)



Raji (1) および Ramos (2) 細胞溶解物に対する IGHM マウス mAb を使用したウエスタンブロット分析。



IGHM マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した HeLa 細胞のフローサイトメトリー分析。



IGHM マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト食道癌組織の免疫組織化学分析。